

AVINO

マイクロハイファイコンポーネントシステム

SH-5X

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。

使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。



株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



KENWOOD

B60-4935-00 00 (CH) (J) AP 0007

本機の特長

□ CD-R、CD-RWディスク*対応CDプレーヤー

音楽CDの再生はもちろん、CD-Rコンパクトディスク Compact Disc Recordable (追記型)、CD-RWコンパクトディスク リライタブル (書き換え型) に録音された曲の再生ができます。

* ファイナライズ処理されたディスクのみ再生可能です。ただし、録音した機器やディスクによっては再生できない場合があります。

□ 省電力設計

電源オフ (スタンバイ) 時の消費電力は 0.25 W以下に設計されています。

□ CDのテキスト情報表示機能 (CD-TEXT対応)

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。(表示できる文字数は1000文字までです)

□ 放送局をオートプリセットする (エリア別FM放送局名自動表示機能)

現在お住まいの都道府県名を設定すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に記録表示することができます。

□ 便利なタイマー機能

① O.T.T.機能:

設定した時間になると、1時間だけ (1回のみ) 動作します。

② タイマー再生、タイマー録音機能:

タイマー再生 (AIタイマー再生) とタイマー録音を2系統 (PROG.1, PROG.2) 設定ができます。(AIタイマーは、タイマー再生開始後、一定のレベルまで徐々に音量が上がります。)

③ スリープタイマー機能:

設定時間になると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、お休みになりたいときに便利です。

目次

△ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

はじめに	2
本機の特長	2

安全編

△ 安全上のご注意(必ずお読みください)	5
----------------------------	---

準備編

接続のしかた	11
1.システム(本体)と付属品の接続	11
2.他の機器(市販品)との接続	13
各部のなまえと働き	14
本体部	14
リモコン部	16
リモコンの使いかた	17
表示部	18
時刻合わせ	19
メニューモードについて	20

基本編

音を出してみましょう	22
CDを聴く	24
テープを聴く	27
ラジオ放送を聴く	29
放送局を自動的に記憶させる (オートプリセット)	30
記憶させていない放送局を聴く (オート選局、マニュアル選局)	32
放送局を1局ずつ記憶させる (マニュアルプリセット)	32
外部機器ソースを聴く	33
テープに録音する	34

応用編

CDのいろいろな再生	37
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	37
繰り返し聴く(リピート再生)	39
曲順を順不同に楽しむ(ランダム再生)	40
飛び越し登録した曲を飛び越して再生する (SKIP PLAY)	41
便利な録音あれこれ	42
CDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット録音)	43
曲順を並べ替えて録音する (プログラム再生(PGM)+O.T.E.)	44
タイマーを使う	45
簡単にタイマーを設定する(O.T.T.タイマー)	45
プログラムタイマー再生(AIタイマー再生)	
タイマー録音	46
音楽を聴きながら眠る(SLEEPタイマー)	49

知識編

知っておきましょう	50
メンテナンス	50
参考	51
故障かな?と思ったら・・・	53
保証とアフターサービス (必ずお読みください)	55
定格	56

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

AM ループアンテナ (1個)



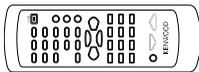
FM 室内アンテナ (1本)



リモコン用単三乾電池 (2本)



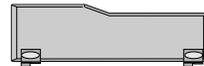
リモートコントロール ユニット (1個)



スピーカーコード (2本)

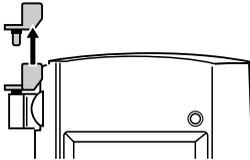


フロントドア (1枚)



フロントドアの取り付け

① 軸受部にある保護キャップを外す

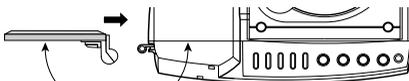


- 取り外した保護キャップは必ず保管してください。

⚠ 注意

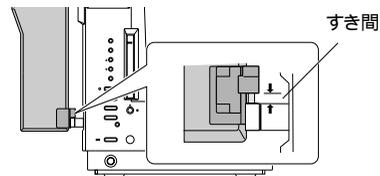
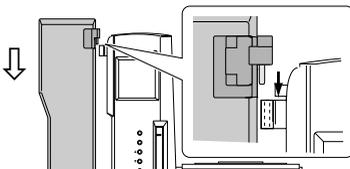
フロントドアを取り付けずに使用するときには、必ず保護キャップを付けて使用してください。保護キャップを取り外した状態で使用すると、フロントドア軸受周辺の金具にふれて、けがの原因となることがあります。

② フロントドアを下図のように約180度以上開いた状態で、本体2箇所の軸受に差し込む

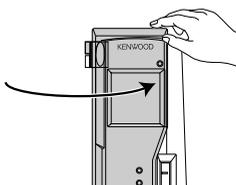


180度以上

- フロントドアの開きかたが十分でないと、本体下部の軸受部にすき間ができます。この場合フロントドアを閉じることができません。



③ フロントドアを手で閉じる



- フロントドアは手で開閉してください。
- フロントドアを取り外すときは、取り付けるときと同様にフロントドアを約180度以上開いた状態でフロントドアを持ち上げ、本体の軸受から外します。



本体部とスピーカーを並べて使用する場合、本体部フロントドアの開閉に支障がないように、本体部とスピーカー部は間を開けて設置してください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

交流 100 ボルト以外の電圧で 使用しない

-  この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

放熱に注意

-  設置の際は、壁から 10cm 以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
 - 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
 - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。



通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

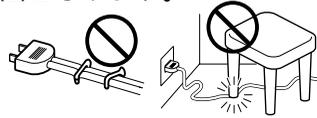
風呂、シャワー室では使用しない

-  風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードの取扱い

-  電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



-  電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



異常が起きた場合は

-  煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



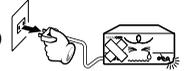
電源プラグは清潔に

 電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



落下した機器は使わない

 機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ケースを絶対に開けないでください

 機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。



雷が鳴り始めたら

 アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



機器の内部に水や異物を入れない

 機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

 機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

 内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電池は放置しない

 電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。電池をあやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

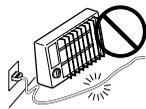
 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。



電源コードを熱器具に近付けない



電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所には置かない



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



湿気やほこりのある場所に置かない



油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となります。



温度の高い場所には置かない



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



電源プラグの抜き差しは



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない



関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



アンテナ工事



アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



指をはさまない



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない



レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて



はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス "+" と マイナス "-" の向き) に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

お手入れの際は



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、サービスステーション、サービススポットに費用を含めご相談ください。

内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

1. システム(本体)と付属品の接続

接続

△注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。付属品は、図のように接続してください。

マイコンの誤動作について
正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。- [53]



付属アンテナの接続

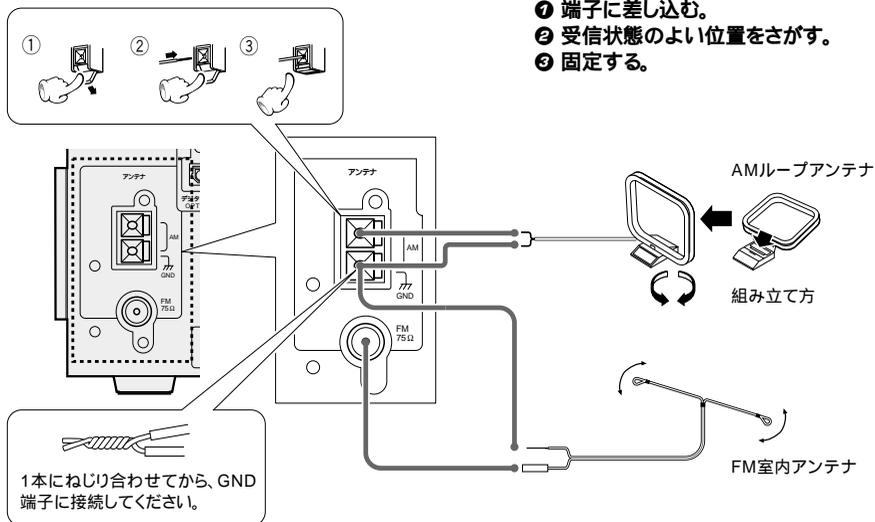
AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態が一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。

- ① 端子に差し込む。
- ② 受信状態のよい位置をさがす。
- ③ 固定する。



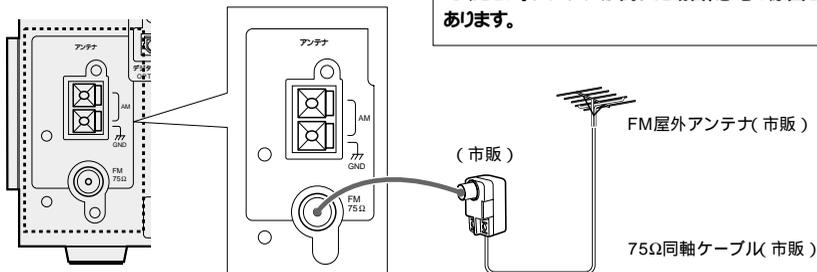
受信状態が悪いときは

FM屋外アンテナ(市販品)との接続

75 同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75 端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。

△注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。



スピーカーの接続

スピーカーには、左右の指定があります。次のように接続してください。

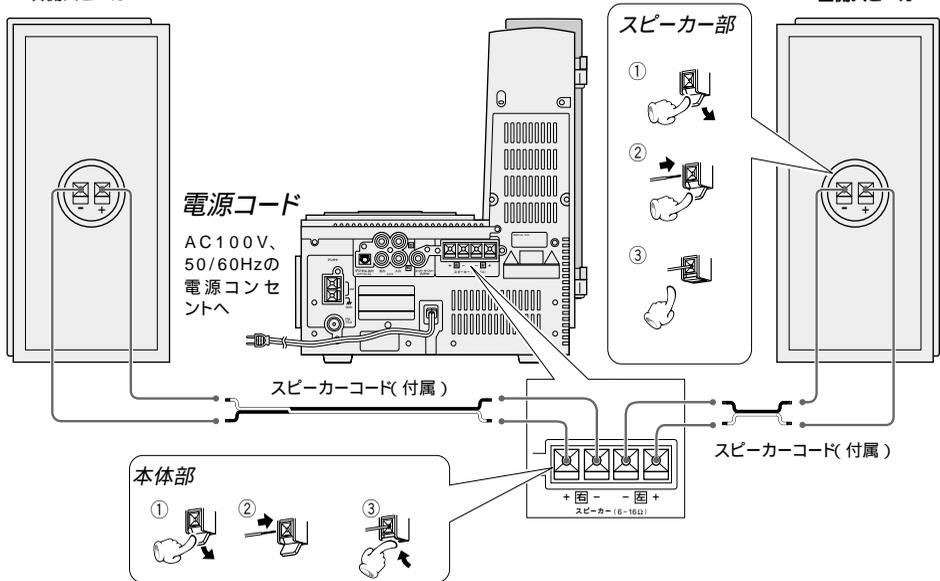
- スピーカーコードの + と - は絶対にショートさせないでください。保護回路が働き、音が出なくなります。
- 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。



1. 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因になります。

右側スピーカー

左側スピーカー



スピーカーの設置とテレビについて

1. 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際にはご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオス(スタンバイ)のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

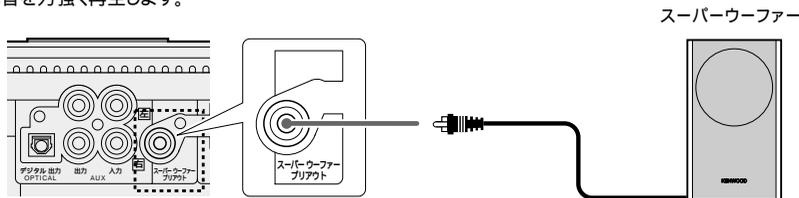
2. 他の機器(市販品)との接続

⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続は、図のように行なってください。

スーパーウーファー(SW-1010) (別売)との接続

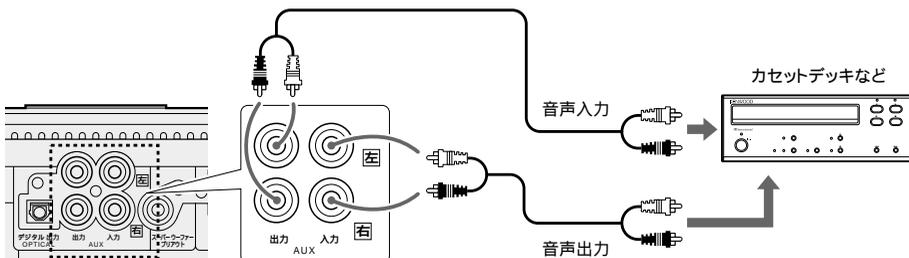
重低音を力強く再生します。



外部ソース(音源)機器との接続

アナログ接続の場合

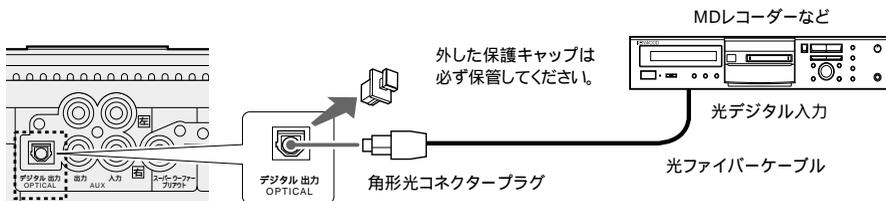
本機背面のAUX(入力/出力)端子を使って、カセットデッキなどを接続することができます。



デジタル接続の場合

オプティカル

本機背面のデジタル出力OPTICAL端子は、CDのデジタル信号を出力します。MDなどのデジタル録音機器を接続して、CDをデジタル録音することができます。

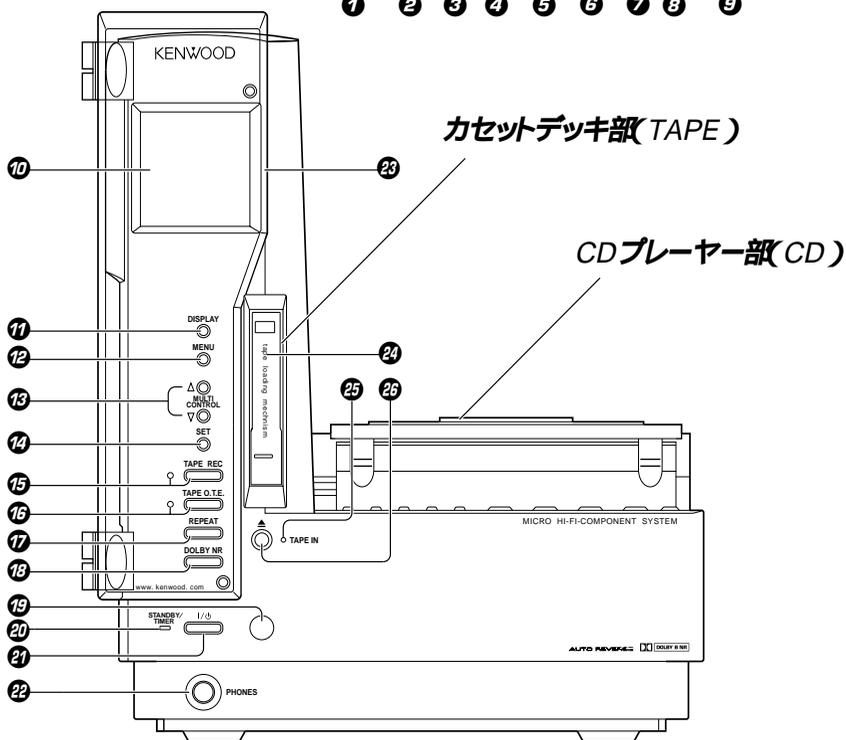
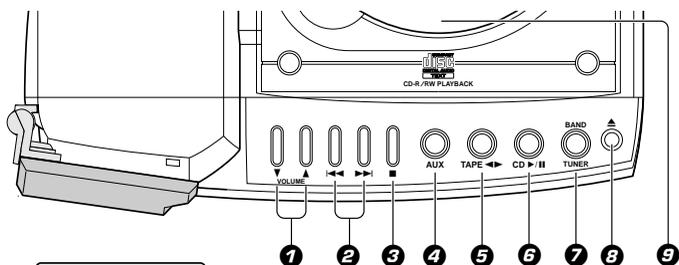


1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. 角形光コネクタープラグは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
3. デジタル端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
4. 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。



本体部

準備編

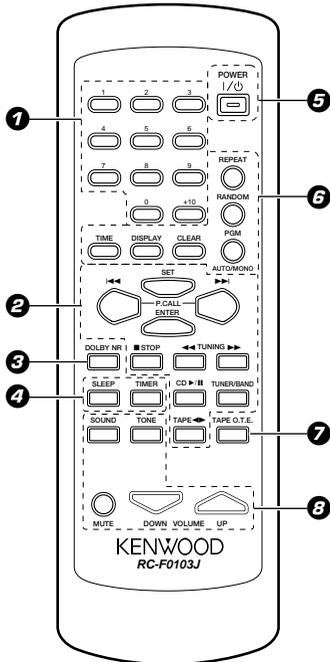


スタンバイ状態について

スタンバイ状態では、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といします。このとき、リモコンで本機をオンできます。

- ① VOLUME(▼、▲)キー**
音量を調整するときに使います。 - [22] - [23]
- ② ◀▶▶▶キー**
CDで再生中のとき：
再生中の曲のスキップに使います。 - [25]
TAPE入力するとき：
テープの早送り、巻き戻しに使います。 - [26]
放送受信中のとき：
プリセットした放送局の選択に使います。 - [29]
- ③ ■(停止)キー**
電源オフ(スタンバイ)のとき：
5秒間の時計表示をします。 - [19]
CD、TAPEで再生中のとき：再生を停止します。 - [25] - [28]
TAPEで録音中のとき：録音を停止します。 - [35]
放送受信中のとき：オート選局動作をとめるときに使
います。 - [32]
- ④ AUX(外部入力)キー**
AUX端子に接続した機器の入力ソースを再生、録音する
ときに使います。 - [22] - [33]
- ⑤ TAPE ◀▶(走行方向切替)キー**
電源オンのとき：入力がTAPEに切り換わります。 - [27]
電源オフ(スタンバイ)のとき：
システム電源をオンにして、カセットデッキで再生する
ときに使います。 - [22]
TAPE入力するとき：テープの走行方向を切り換えます。
- [27]
- ⑥ CD ▶/II(再生/一時停止)キー**
電源オンのとき：入力がCDに切り換わります。 - [24]
電源オフ(スタンバイ)のとき：
システム電源をオンにして、CDプレーヤーで再生する
ときに使います。 - [22]
CD入力するとき：再生/一時停止に使います。 - [25]
- ⑦ TUNER/BANDキー**
電源オンのとき：
入力がTUNERに切り換わります。 - [29]
電源オフ(スタンバイ)のとき：
システム電源をオンにして、放送を受信します - [22]
放送受信中のとき：放送バンドを切り換えます。 - [29]
- ⑧ CDプレーヤーカバーオープン(▲)キー**
CDプレーヤーカバーを開くときに使います。 - [24] - [25]
- ⑨ CDプレーヤーカバー**
- ⑩ 表示部** - [18]
- ⑪ DISPLAYキー**
表示を切り換えるときに使います。 - [36]
- ⑫ MENUキー**
メニューモードにするとき、メニューモードを解除する
ときに使います。 - [18] - [19] - [20]
- ⑬ MULTI CONTROL(▼、△)キー**
時刻合わせ、各種設定の選択、タイマー予約にも使
います。 - [18] - [19] - [20] - [23] - [45]
- ⑭ SETキー**
電源オンのとき：メニューの設定や確定などに使
います。 - [18] - [19] - [20]
放送受信中のとき：オートプリセットした放送局名をか
えるときに使います。 - [30]
- ⑮ TAPE RECキー / インジケーター**
キー
テープに録音するときに使います。 - [35]
インジケーター
TAPEで録音中に点灯し、録音一時停止中は点滅します。
- [35]
- ⑯ TAPE O.T.E.キー / インジケーター**
キー
CD再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中に押す
と、CD全曲をテープにワンタッチで録音します。
- [43] - [44]
インジケーター
O.T.E.録音中に点灯します。 - [43] - [44]
- ⑰ REPEATキー**
CDでくり返し再生するときに使います。 - [39]
- ⑱ DOLBY NRキー**
DOLBY NRのオン / オフを切り換えます。 - [28]
- ⑲ リモコン受光部**
- ⑳ STANDBY/TIMER インジケーター**
電源オンのとき：消灯
電源オフ(スタンバイ)のとき：赤色の点灯 - [14]
タイマースタンバイ状態：緑色の点灯
- [45] - [48]
- ㉑ I/IIキー**
電源のオン / オフ(スタンバイ)を切り換えます。
- [22] - [45]
- ㉒ PHONES端子**
ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。
- [23]
- ㉓ フロントドア** - [4]
- ㉔ テープ挿入口**
- ㉕ TAPE INインジケーター**
テープがセットされているとき点灯します。 - [27]
- ㉖ テープ取出し(▲)キー**
テープを取り出すときに使います。 - [28]

リモコン部



型名:RC-F0103J
赤外線方式

① 数字、文字入力キー

CD入力するとき：
数字キーとして使います。 - [25]
放送受信中とき：
放送局を呼び出すときまたはプリセットするときに使います。 - [29] - [32]

② 基本操作キー

SETキー

CD入力するとき：
プログラム再生の設定や確定などに使います。 - [37] - [38]
放送受信中とき：
オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。 - [30]

◀▶キー

CDで再生中のとき：
再生中の曲のスキップに使います。 - [25]
TAPE入力するとき：
テープの早送り、巻き戻しに使います。 - [28]
放送受信中とき：
プリセットした放送局の選択に使います。 - [29]

ENTERキー

放送受信中とき：
マニュアルプリセットの確定に使います。 - [32]

■ STOP (停止)キー

電源オズ (スタンバイ) のとき：
5秒間の時計表示をします。 - [19]
CD、TAPEで再生中のとき：
再生を停止します。 - [25] - [28]
TAPEで録音中のとき：
録音を停止します。 - [35]
放送受信中とき：
オート選局をとめるときに使います。 - [32]

◀▶キー

CDで再生中のとき：
再生中の曲の早送り、早戻しに使います。 - [25]
TAPE入力するとき：
テープの早送り、巻き戻しに使います。 - [28]
放送受信中とき：
放送局の選択に使います。 - [32]

CD ▶/|| (再生/一時停止)キー

- [22] - [24]

TUNER/BANDキー

入力をTUNERに切り換えます。 - [22]

放送バンドを切り換えます。 - [29]

TAPE ◀ (走行方向切換)キー

- [22] - [27]

③ DOLBY NRキー

DOLBY NRのオン/オフを切り換えます。 - [28]

④ タイマー関連キー

SLEEPキー

SLEEPタイマーを設定するときに使います。 - [49]

TIMERキー

各種タイマーの実行、解除するときに使います。 - [45] - [46]

⑤ POWER (I/⏻) キー

- [17] - [22] - [45]

⑥ CD再生関連キー

REPEATキー

CDでくり返し再生するときに使います。 - [39]

RANDOMキー

CDで曲順を順不同に再生します。 - [40]

PGM (AUTO/MONO) キー

CD入力するとき：
プログラム再生のオン/オフを切り換えます。 - [37]

放送受信中とき：
選局方法を選ぶときに使います。 - [32]

TIMEキー

CD入力するとき：
タイトル表示や、再生、録音時間表示を切り換えるときに
使います。 - [26]

放送受信中とき：
周波数表示と局名表示を切り換えるときに使います。
- [30]

DISPLAYキー

表示部を切り換えるときに使います。
- [36]

CLEARキー

CD入力するとき：
プログラム再生の取り消しに使います。
- [38]

⑦ TAPE O.T.E. キー

CD再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中に押すと、CD全曲をテープにワンタッチで録音します。
- [43] - [44]

⑧ 音質、音量関連キー

SOUNDキー

S.DIRECT、N.B.1、N.B.2、およびTONEを選ぶときに
使います。 - [23]

TONEキー

低音域、中音域、高音域の音質調整に使います。 - [23]

MUTEキー

一時的に音を消すときに使います。 - [23]

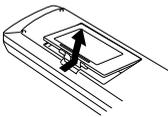
VOLUMEキー

音量、音質の調整に使います。 - [22] - [23]

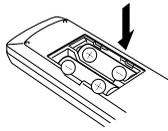
リモコンの使いかた

電池の入れかた

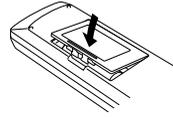
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



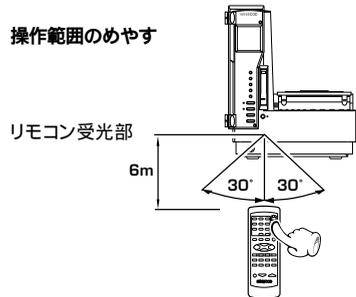
● 単三乾電池2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの
POWER(⏻)キーを押すと、電源がオンになります。
電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

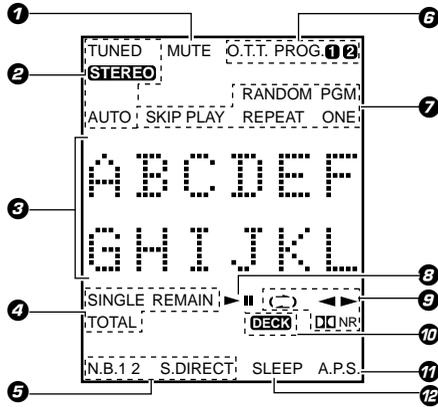
● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すとき
は、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす



- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
- 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部

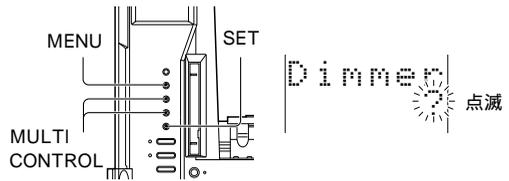


- ① MUTE表示
- ② チューナー関連表示
- ③ 文字情報表示部
(入力表示、再生時間、タイトル表示など)
- ④ CDの再生時間関連表示
- ⑤ 音質調整関連表示
(N.B.1、N.B.2、S.DIRECT)
- ⑥ タイマー関連表示
(O.T.T.、PROG.1、PROG.2)
- ⑦ CD関連表示
- ⑧ CDの▶(再生)/|| (一時停止)表示
- ⑨ TAPE関連表示
- ⑩ 録音表示(DECK)
- ⑪ A.P.S.(オートパワーセーブ)表示
- ⑫ SLEEP(スリープ)表示

表示部の明るさの調整について(Dimmer)

本機の表示部の明るさをお好みによって切り換えることができます。

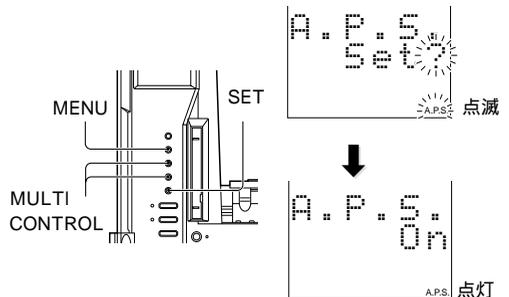
- ① MENUキーを押す
- ② MULTI CONTROLキーを押して"Dimmer ?"を選び、SETキーを押す
- ③ MULTI CONTROLキーを押して"Low"または"High"を選び、SETキーを押す



オートパワーセーブ機能について(A.P.S.:Auto Power Save)

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分放置すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になる機能です。次の操作で、使う(On)使わない(Off)を選びます。

- ① MENUキーを押す
 - ② MULTI CONTROLキーを押して"A.P.S. Set ?"を選び、SETキーを押す
 - ③ MULTI CONTROLキーを押して"On"または"Off"を選び、SETキーを押す
- ソース(音源)がTUNERまたはAUXの場合、音量が"0"のときに限りオートパワーセーブが働きます。
 - この機能が働いているときは、表示部に"A.P.S."が点灯します。



本機には、時計機能がついています。タイマー機能を使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。

タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。

電源をオンにする

1 時刻合わせモードにする

MENUキーを2秒以上押す



- 時間表示が点滅を始めます。

TIME
Adjust



12:00

点滅

2 時間を合わせる

- ① MULTI CONTROLキーを押して"時"を合わせる

"時"が進む



"時"が戻る



- ② SETキーを押す



- ① 時を調整

午後1時30分に
合わせる例

1:00 PM

点滅

- SETキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。
- 時間は12時間(AM/PM)で表示されます。

3 分を合わせる

- ① MULTI CONTROLキーを押して"分"を合わせる

"分"が進む



"分"が戻る



- ② SETキーを押す



- ① 分を調整

1:30

点滅

- 間違えて押したときは、MENUキーを押して最初からやり直してください。
- 時報と同時にSETキーを押すと正確に時刻を設定することができます。

電源オフ(スタンバイ)のとき:

本体の[停止]キーまたはリモコンの[STOP]キーを押すと5秒間だけ時計表示します。

メニューモードの操作

① MENUキーを押す



② 設定したい項目を選ぶ



③ SETキーを押す



②と③をくり返し、設定します。

押すと表示が切り換わります。

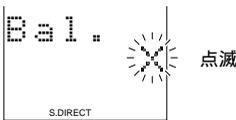
- "ケンメイセツテイ ?" → 30
(TUNER入力するとき)
- "Skip Play ?" → 41
(CD入力するとき)
- "AUX Input ?" → 36
(AUX入力するとき)
- "Rec Gain ?" → 36
(AUX入力するとき)
- "Bal. ?" → 23
(バランス)
- "Dimmer ?" → 18
(ディマー)
- "A.P.S. Set ?" → 18
(オートローセーブ セット)
- "Timer Set ?" → 45 → 46
(タイマー セット)
- "TAPE RVS. ?" → 28 → 34
(テープ リバース)

- 操作中に約20秒放置するとメニューモードは解除されます。
- メニューモードでの各設定を途中でやめる場合はもう一度MENUキーを押す。
- 録音中はメニューモードの切り換えはできません。

メニューモードの表示について("x"の表示)

メニューモードを操作するときの状態によっては、表示されていても選択し、設定できない項目があります。そのときは表示部右下に"x"が点滅します。そのままSETキーを押すと、原因、状態などが表示されます。

例: バランス調整のとき

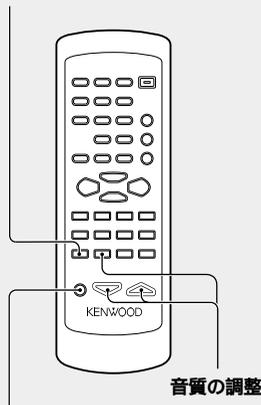


"S.DIRECT"がスクロールします

- "?"が点滅しているときは選択し、設定することができません。

- "S.DIRECT"を選択しているときは、"Bal."(バランス)調整はできません。

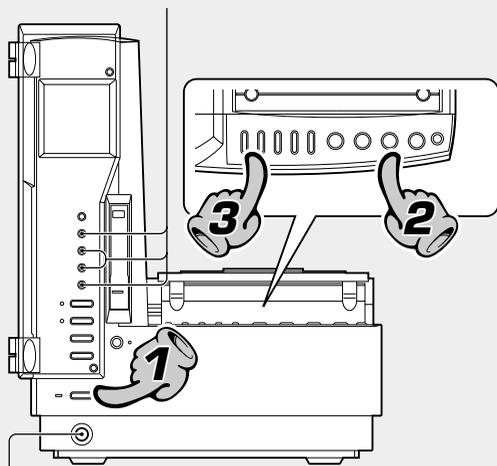
低音と高音を補正する



一時的に音を消す

音質の調整

バランスの調整



ヘッドホンで聴く



I/Oキーを押す

1. 電源をオンにする(オフにする)

電源がオンのときに I/O キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

- 電源をオンにしてから約5秒間は、回路保護の為ミュート(音が出ない)状態になります。
- 電源がオフ(スタンバイ)のとき CD ▶/II, TAPE ◀, または TUNER/BAND、AUXキーを押すと、電源がオンになり、その入力に切り換わり再生(受信)状態になります。(ワンタッチオペレーション機能)
- 電源をオフ(スタンバイ)にすると、I/Oキーを押しても電源がオフ(スタンバイ)になるまで時間がかかる場合があります。しばらくすると電源がオフ(スタンバイ)になります。

CDを選んだとき



2. 聴きたいソース(音源)を選ぶ

(入力を切り換える)

TUNER(ラジオ放送)	- 29
CD(CDプレーヤー)	- 24
TAPE(カセットデッキ)	- 27
AUX(外部アナログ機器)	- 33

CDを選んだとき

```

| CD   01 |
| 0:00 |
  
```

- CD ▶/II, TAPE ◀ を押したとき、すでにディスクやテープが入っている場合は再生が始まります。



3. 音量を調整する

- リモコンの VOLUME キーでも同様の操作ができます。
- 表示部に目安の数字(0~40)を表示します。

```

| CD   01 |
| Vol 17 |
  
```

音量の表示

一時的に音を消す(ミュート)

リモコンのみ



MUTE

点滅



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ヘッドホンで聴く

① ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む



- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

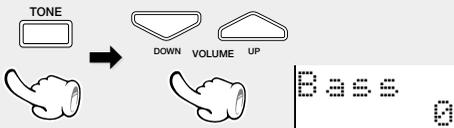
② VOLUMEキーで音量を調整する

音質の調整(TONE)

リモコンのみ

低音域(Bass) 中音域(Mid) 高音域(Treble)の調整ができます。調整をした場合はN.B.(ナチュラルバス)効果は解除されます。

① TONEキーを押して"Bass"の設定にする。VOLUMEキーでお好みのレベルを設定してください



② "Bass"表示中にTONEキーを押すと"Mid"の設定になります。VOLUMEキーでレベルを設定してください

③ "Mid"表示中にTONEキーを押すと"Treble"の設定になります。VOLUMEキーでレベルを設定してください

④ TONEキーを押して、調整を終了する

- Bass, Mid, Trebleともに -4 ~ +4の範囲で調整できます。

低音と高音を補正する(N.B.: Natural Bass circuit)

リモコンのみ



SOUND



N.B.1

点灯

押すたびに表示が切り換わります。

- ① "S.DIRECT" CDやTAPEなどソース(音源)の音を、本機の音質調整回路を通さず、なるべく原音に忠実に聴くことができます。
- ② 消灯 音質調整された音を聴くことができます。
- ③ "N.B.1" 音量に応じて低音と高音を強調します。
- ④ "N.B.2" 低音のみ強調します。

バランスの調整(Bal.)

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

① MENUキーを押す



② MULTI CONTROLキーを押して"Bal. ?"(バランス)を選び、SETキーを押す



- S.DIRECTを選んでいるときは、調整できません。"x"と表示されます。"メニューモードの表示について"-20

③ MULTI CONTROLキーを押して、左右のバランスを調整する

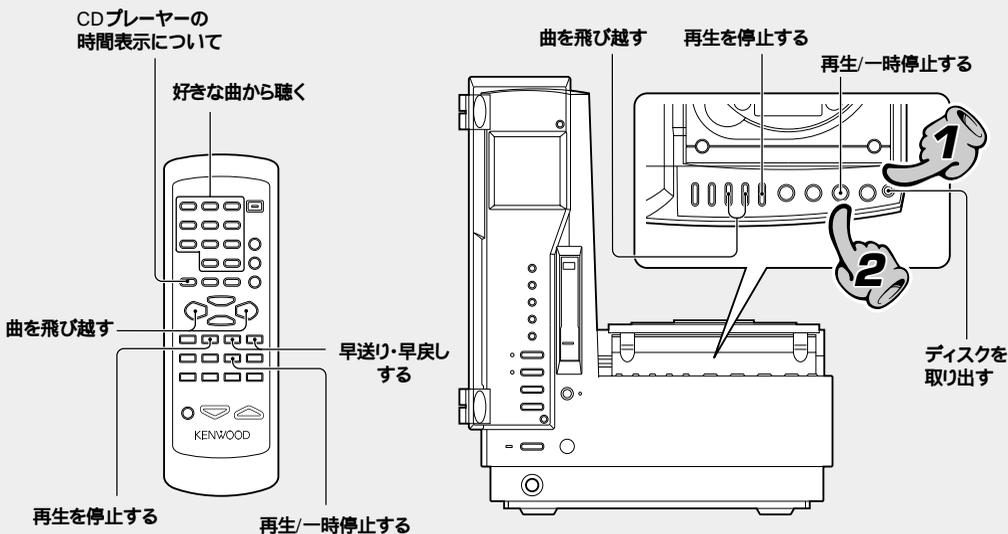


- △(アップ)キーで右(R)チャンネル側、▽(ダウン)キーで左(L)チャンネル側に調整します。バランス中央値のときは"Center"と表示されます。

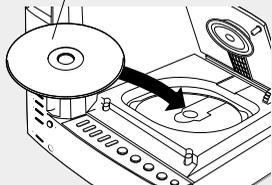
④ SETキーを押す



CD-R、CD-RWを再生するときは、ファイナライズ処理されている必要があります。



レーベル面を上にする



再生面には、触れないでください

1. ディスクを入れる

- ① CDプレーヤーカバーオープン(△)キーを押す
- ② ディスクを入れる
- ③ CDプレーヤーカバーを手で閉める

- 数秒間"CD Reading"と表示されます。(入力が"CD"のとき)
- 8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
- CD-R、CD-RWを再生する場合、録音した機器やディスクによっては再生できない場合があります。"CD-R、CD-RWの再生について"

- 25

2. 再生をはじめめる(入力が"CD"に切り換わります)



再生中の曲番 (上段)

曲の時間表示 (下段)

CD 01
0:07
SINGLE

再生/一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

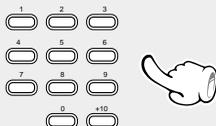
再生を停止する



好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ



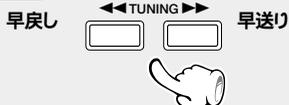
数字キーを押す順序は

12曲目なら +10, 2

20曲目なら +10, +10, 0

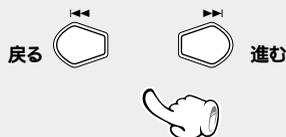
早送り・早戻しする

リモコンのみ



- 手を離れたところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く◀◀キーを押します。
- 停止中でも◀◀、▶▶キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す



CD TEXT 機能について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。表示できる文字数は約1000文字までです。それ以上は"Text Full"と表示されます。

CD-R、CD-RWの再生について

本機ではCD-R、CD-RWを再生することができますが、次のようなディスクの場合再生できません。

- ファイナライズ処理をしていないCD-R、CD-RWは" $\sqrt{\text{No Disc}}$ "と表示され、再生できません。
- CD-ROMなどのオーディオ信号以外のデータは再生できません。CDグラフィックやCD-TEXTなど様々な情報が記録されているディスクの場合、オーディオ信号以外のデータは再生できません。
- **ドルビーデジタル**(AC-3)やMP3などの圧縮されたデジタルオーディオ信号は再生できません。

これら以外の場合でも、録音機器の記録特性(ピックアップなど)の違いや、使用するCD-R、CD-RWの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。

CDプレーヤーの時間表示について

リモコンのみ

TIMEキーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。



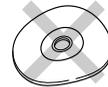
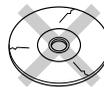
再生中の曲の経過時間	CD 02 0:07 SINGLE
再生中の曲の残り時間	CD 02 4:53 SINGLE REMAIN
ディスク全体の経過時間	CD 02 5:07 TOTAL
ディスク全体の残り時間	CD 02 54:53 TOTAL REMAIN
CDテキスト情報表示	CD 02 SATISF
(対応ディスクのみ)	

- プログラム再生などで、トータル256分以上になると " - : - : - " と表示され時間表示ができません。
- CDテキスト情報表示はCD TEXT対応ディスクではない場合や、テキストデータの無いディスクの場合 "....." と表示されます。

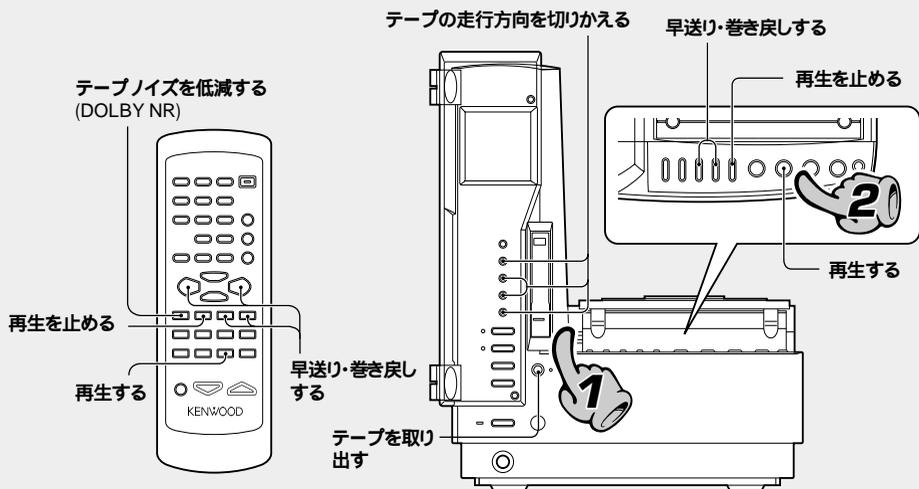
ラベルなどを貼りつけたディスクはご使用にならないでください。故障の原因となります。



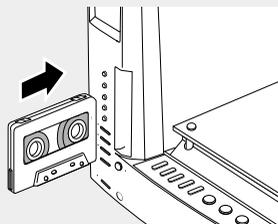
変形CD(星形、ハート形等)ひび割れがある、大きくそったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。



90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。



1. テープを入れる



矢印の方向に入れる

- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープが再生可能です。
- テープは、たるみのない状態にしてください。

テープをテープ挿入口からまっすぐに挿入してください。押し込むだけで自動的に本体に収納され、TAPE INインジケータが点灯します。



電源がオススタンバイ状態のときは、テープの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にテープを入れしないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめめる (入力が"TAPE"に切り換わります)

再生中は、キーを押すたびに、テープの走行方向が切り換わります。



本体への挿入方向→



この面を再生(録音)するときには走行表示を"▶"にして再生(録音)する。
うら面を再生(録音)するときには走行表示を"◀"にして再生(録音)する。

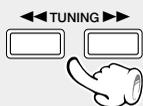
走行方向について

再生や録音をしているときの、テープの走行方向を、◀または▶の点灯で表示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。



リパースモードの表示 → [28]

早送り・巻き戻しする



テープの走行表示と走行		巻き戻し	早送り
表示	走行方向		
▶	 本体への挿入方向→	 (◀◀)	 (▶▶)
◀	 本体への挿入方向→	 (▶▶)	 (◀◀)

- 本体で操作するとき、◀◀、▶▶ キーを押してください。
- 早送り、巻き戻しを止めるときは、■STOPキーを押してください。
- リモコンの◀◀、▶▶でも同様の操作ができます。

 ドルビー ノイズリダクション
 テープノイズを低減する(DOLBY NR)

ドルビー録音されたテープを聴くときのみに使います。(ドルビー録音をしていないテープでは、正常な音で再生されません)



押すたびに切り換わります。

- ① "□□NR" 点灯 DOLBY NRを使う
- ② "□□NR" 消灯 DOLBY NRを使わない

- 高音域のノイズの低減に有効です。
- 本体のDOLBY NRキーでも同様の操作ができます。

再生を停止する



テープを取り出す


 テープ リバース
 リバースモードを選ぶ(TAPE RVS.)

本体のみ

① MENUキーを押す。



② "TAPE RVS. ?"を選ぶ。



③ 選択する。



- ① "◀" (リバース) 両面を再生(録音)して止まる
- ② "◀" (エンドレス) 両面をエンドレス再生する(録音時は両面を録音して止まる)
- ③ "◀" (ONE-WAY) 片面のみを再生(録音)して止まる

(初期設定は"◀" (リバース) (REVERSE) になっています。)

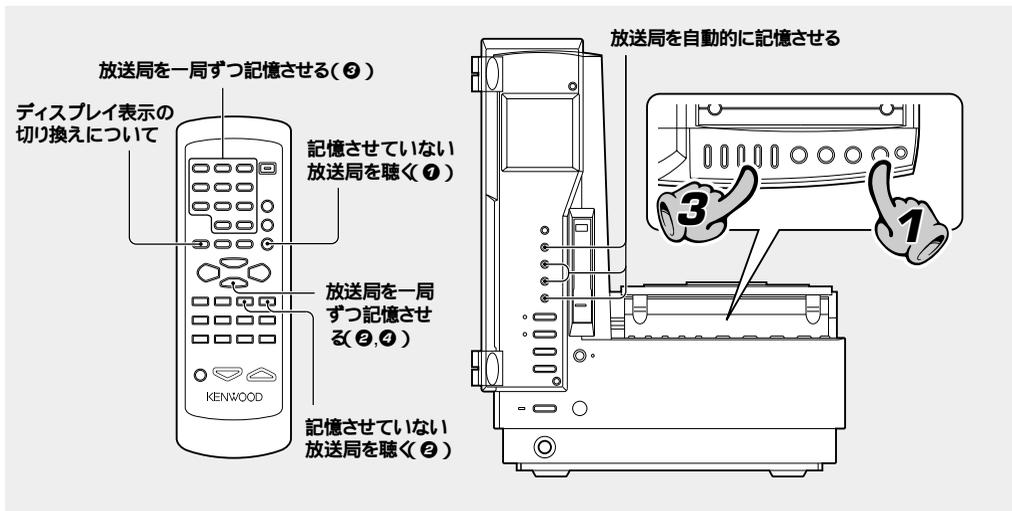
④ 確定する。



- リバースモード"◀" (REVERSE)での再生では、再生方向"◀"で開始した場合、その面のみの再生になります。
- リバースモード"◀" (REVERSE)での録音では、録音方向"◀"で開始した場合、その面のみの録音になります。
- リバースモード"◀" (ENDLESS)での録音では、録音方向"◀"で開始した場合、その面のみの録音になります。

テープカウンターについて

カセットテープを入れると、テープカウンターが"0000"と表示されます。テープの途中で録音(再生)を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておくと、次の録音(再生)のときに、続きの場所を探すめやすくなります。裏面を聴いているとき(走行方向表示が◀のとき)はカウンターの数字は減っていきます。テープカウンターを"0000"にしたいときは、カセットテープをいったん取り出してください。カウンターがリセットされます。



1. 入力をチューナーにする

放送バンドは、**TUNER/BAND**キー押すたびに切り換わります。

↔ FM
↔ AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット) - [30]

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの放送局を受信すると、放送局名を(FM 放送のみ)表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット) - [32]

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは「記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)」をお読みください。 - [32]

3. 放送局を呼び出す(プリセットコール)

オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、**◀◀**または**▶▶**を押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

▶▶を押すと

1 → 2 → 3 38 → 39 → 40 → 1

◀◀を押すと

40 → 39 → 38 3 → 2 → 1 → 40.....

- リモコンでは、**◀◀**、**▶▶**キーあるいは数字キーを押して選局します。

数字キーを押す順序は

12番目なら +10, 2 20番目なら ... +10, +10, 0

受信すると「**TUNED STEREO**」表示が点灯します。



放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット) (エリア別FM放送局名自動表示)

- ① TUNER/BAND キーを押して入力をチューナーにする



- ② MENU キーを押す



- ③ MULTI CONTROL キーを押して"ケンメイセッテイ?"を選びSETキーを押す



- ④ MULTI CONTROL キーを押して、お住まいの都道府県名を選ぶ

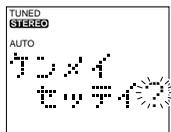


- ⑤ SET キーを押す

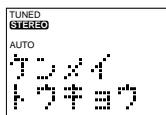


- オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"-(31)に記載しているFM放送局のみに対応しています。

- オートプリセット中は他の操作をしないでください。

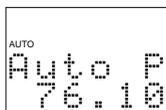


- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
● 都道府県名を設定していない場合は、"ミセッテイ"と表示されます。



"トウキョウ"を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
● 都道府県名を設定したときは、"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に従ってオートプリセットされます。-(31)



- "Auto Preset"表示がスクロールして順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
● リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
● 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および"TUNED"が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。-(29)
● オートプリセットが終了と、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
● オートプリセットをおこなうと、今までに記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

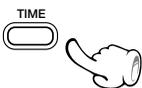
希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SETキーを押して隣接する地域(都道府県)のリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。隣接する地域(都道府県)に該当する放送局がない場合は切り換わりません。

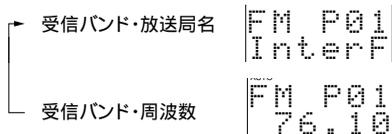


ディスプレイ表示の切り換えについて(リモコンのみ)

オートプリセットしたFM局の表示を切り換えます。



TIMEキーを押すたびに切り換わります。



- 放送局名がスクロールします。

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2000年 8月現在

放送局		表示名	放送局		表示名	
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM	中部地方	エフエム愛知	FM AICHI	
				エフエム名古屋	ZIP - FM	
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G '	近畿地方	愛知国際放送	RADIO-i	
	エフエム・ノースウェーブ	north wave		三重エフエム放送	FMミエ	
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ	エフエム京都	アルファStation		
	エフエム岩手	FMイワテ	エフエム滋賀	E - Radio		
	エフエム仙台	Date fm	エフエム大阪	fm osaka		
	エフエム秋田	Co - much FM	エフエムはちまるに	FM802		
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ	関西インターメディア	FM CO・CO・LO		
	エフエム福島	フクシマFM	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM		
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM	中国・四国地方	エフエム山陰	V - air	
	エフエムジャパン	J - WAVE		岡山エフエム放送	FMオカヤマ	
	エフエムインターウェーブ	InterFM		広島エフエム放送	ヒロシマFM	
	放送大学	ホウソウダイガク		エフエム山口	FMヤマグチ	
	エフエム群馬	FMグンマ		エフエム徳島	PassionWave	
	エフエム栃木	RADIO BERRY		エフエム香川	FMカガワ	
	エフエム埼玉	NACK5		エフエム愛媛	FMエヒメ	
	エフエムサウンド千葉	bayfm		エフエム高知	FM KOCHI	
	横浜エフエム放送	Fm yokohama		九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム富士	FM-FUJI			エフエム九州	CROSS FM
エフエムラジオ新潟	FMニイガタ	エフエム佐賀	FMサガ			
長野エフエム放送	FMナガノ	エフエム長崎	SMILE-FM			
北日本放送	KNBラジオ	エフエム中九州	FMK			
富山エフエム放送	FMトヤマ	エフエム大分	FM OITA			
エフエム石川	FM ISHIKAWA	エフエム宮崎	JOY - FM			
福井エフエム放送	FMフクイ	エフエム鹿児島	ミュ- FM			
静岡エフエム放送	K・MIX	エフエム沖縄	FM Okinawa			
		NHK 第一	NHKラジオ 1			
		FEN 沖縄	FEN オキナワ			
		九州国際エフエム	Love FM			

記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。

- 電波の状態が良いとき : オート選局モード
 電波が弱く雑音が多いとき : マニュアル選局モード

●FM放送はマニュアル選局モードでは、モノラル受信となります。

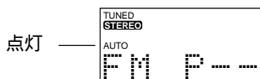
- ① オート選局とマニュアル選局を切り換える(リモコンのみ)
 押すたびに切り換わります。



- ① オート選局 "AUTO" 点灯
 ② マニュアル選局 "AUTO" 消灯

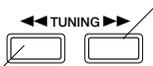
(通常はオート選局にしておきます。)

オート選局のとき



- ② 選局をする

周波数が上がる



オート選局のとき:
 キーを押すごとに次々に受信します。

マニュアル選局のとき:

希望する放送局を受信するまで押す。

周波数が下がる



- オート選局中に止めたいときはリモコンの■STOPキー、または本体の■(停止)キーを押します。

放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

- ① "記憶させていない放送局を聴く"の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

- ② 受信中にリモコンのENTERキーを押す

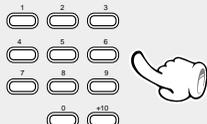


- ③ リモコンの数字キーで1~40までのプリセット番号を任意に選ぶ

数字キーを押す順序は

12番目なら +10, 2

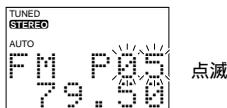
20番目なら +10, +10, 0



- ④ ENTERキーを押す



- プリセットを続けるときは、手順①~④を繰り返します。
- 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。



操作中に約20秒放置すると、プリセットは中止されます。

アナログ出力を備えているカセットデッキなどを本機に接続して聴くことができます。

"外部ソース(音源)機器との接続" - 13 を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。

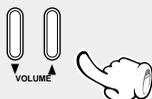
外部機器を聴くとき

- ① AUXキーを押す



- ② 外部アナログ機器の演奏をはじめめる

- ③ 音量を調整する



外部アナログ機器の入力レベルを調整する

外部アナログ機器の音量が、本機のCDの音量の大きさと比べて異なる場合など、同じ音量で聴こえるように調整します。

- ① MENUキーを押す



- ② MULTI CONTROLキーで"AUX Input ?"を選び、SETキーを押す



- ③ MULTI CONTROLキーを使って好みのレベルに調整する

● -5 ~ +2の範囲で調整ができます。



- ④ SETキーを押して確定する



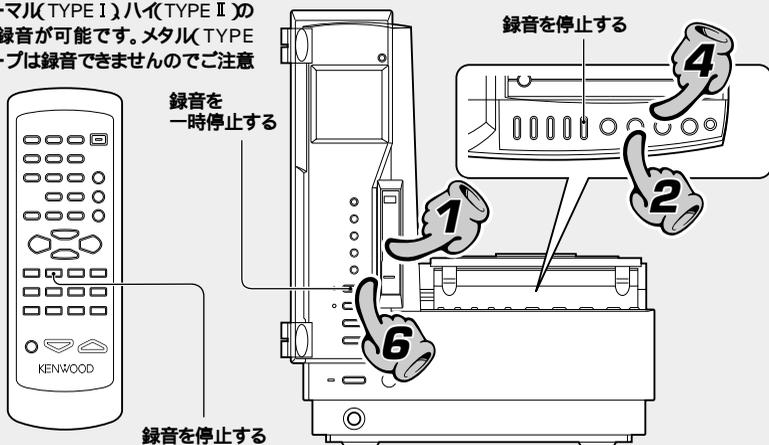
入力レベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部アナログ機器からの録音の入力レベルも変化します。

テープに録音する

90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

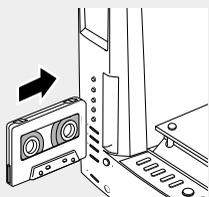


本機はノーマル(TYPE I)ハイ(TYPE II)のテープの録音が可能です。メタル(TYPE IV)のテープは録音できませんのでご注意ください。



録音を一時停止する

録音を停止する



矢印の方向に入れる

1. テープを入れる

- テープは、たるみのない状態にしてください。

テープをテープ挿入口からまっすぐに挿入してください。押し込むだけで自動的に本体に収納され、TAPE INインジケータが点灯します。

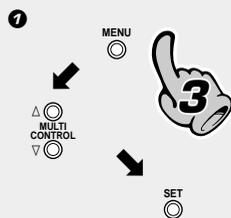
電源がオースタンバイ状態のときは、テープの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にテープを入れないでください。故障の原因となります。

2. テープの進む向きを選ぶ

走行方向を逆にしたい場合

- ① TAPE ◀▶ キーを押す
- ② もう一度TAPE ◀▶ キーを押す
- ③ ■ 停止 并ーキーを押して停止させる

- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
"走行方向について" - [27]
- テープの頭出し 録音を始める位置をさがすこと をしておきます。



3. 録音条件を決める

- ① リバースモードを選ぶ - [28]

- ◀▶ (リバース) (REVERSE) 両面を録音して止まる
- ◀▶ (エンドレス) (ENDLESS) 両面を録音して止まる
- ◀▶ (ワンウェイ) (ONE-WAY) 片面のみを録音して止まる

- ② DOLBY NRのオン / オフを選ぶ - [28]

- ◻ DOLBY NR 点灯 DOLBY NRを使う
- ◻ DOLBY NR 消灯 DOLBY NRを使わない

- リモコンのDOLBY NRキーでも操作できます。

DOLBY NR



CDを選ぶ場合



4. 録音するソース(音源)を選ぶ

TUNER(ラジオ放送) : TUNER/BANDキーを押す
 CD : CD ▶/IIキーを押す
 AUX(外部アナログ機器) : AUXキーを押す

- CD ▶/IIを押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますので ■(停止)キーを押して停止させてください。



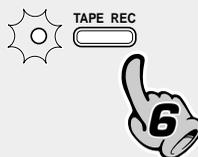
選ばれた録音するソースが表示されます。

5. 録音の準備をする

TUNER(ラジオ放送) : 選局する
 CD : 録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする
 AUX(アナログ録音) : 受信や再生などの準備をする - [33]

- "AUX(外部アナログ機器)を選んだときのみ、入力レベルを調整することができます。外部アナログ機器からの音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。(AUX Input, Rec Gain) - [36]

6. 録音を始める



- ① 準備ができていれば、TAPE RECキーを押す(録音が始まります)
- ② ソース(音源)の再生を始める

- "DECK"表示が点灯し、TAPE RECインジケータも点灯します。

録音を一時停止する(本体のみ)



- 録音中に再度、TAPE RECキーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、一時停止します。(もう一度押すと録音を再開します)
- "DECK"表示が点滅し、TAPE RECインジケータも点滅します。

録音を停止する



- CDを録音中に■(停止)キーを押すとCD再生も停止します。
- リモコンの■STOPキーでも操作できます。

録音側の時間表示を切り換えるには

ディスプレイ
DISPLAYキーを押して、録音側のディスプレイ表示に切り換える

DISPLAY



再生側(CDプレーヤーなど)

録音側(カセットデッキ)

- リモコンのDISPLAYキーでも切りかえることができます。

録音側(カセットデッキ)の表示



外部アナログ機器の入力レベルを調整する (AUX Input、Rec Gain)

インプット レコーディング ゲイン

カセットデッキなどの外部アナログ機器の音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合、適正な録音レベルで録音されない場合があります。

次の調整をおこなってから録音してください。

外部アナログ機器の入力レベルを調整する(AUX Input)

インプット

外部アナログ機器からの音声、本機で再生するCDなどの音声と同じレベルで聴こえるように調整します。

- 1 AUXキーを押す
- 2 MENUキーを押す
- 3 MULTI CONTROLキーを押して"AUX Input?"を選びSETキーを押す
- 4 MULTI CONTROLキーを押して録音レベル(-5 ~ +2)を調整する
- 5 SETキーを押して確定する

- この調整で入力レベルを+2(最大)にしても、外部アナログ機器の音声がいちじるしく小さい場合や、調整後録音した音声がいちじるしく小さい場合には、次の録音入力レベルの調整(Rec Gain)をおこないます。



外部アナログ機器の録音レベルを調整する(Rec Gain)

レコーディング ゲイン

- 1 AUXキーを押す
- 2 MENUキーを押す
- 3 MULTI CONTROLキーを押して"Rec Gain?"を選びSETキーを押す
- 4 MULTI CONTROLキーを押して"High"を選ぶ
- 5 SETキーを押して確定する

- この調整を"High"に設定することにより、録音レベルが高くなりすぎて、音がひずむ場合があります。

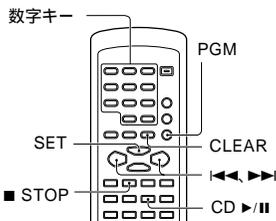


曲順を並べ替えて聴く

(プログラム再生)

ディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲まで)

CD-R、CD-RWを再生するときは、ファイナライズ処理されている必要があります。



入力切り換えを"CD"にする

- 24

1 停止を確認する

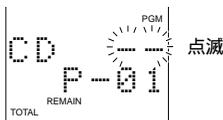
再生中のとき

■ ^{ストップ}STOPキーを押す



2 "PGM"表示を点灯させる

^{プログラム}PGMキーを押す

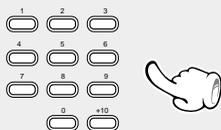


3 聴きたい順に曲を選ぶ

① 数字キーで曲番号を選ぶ

20秒以内に手順

②を行う



数字キーを押す順序は

12曲目なら +10, 2

20曲目なら +10, +10, 0

② ^{セット}SETキーを押す



③ 手順①、②を繰り返す

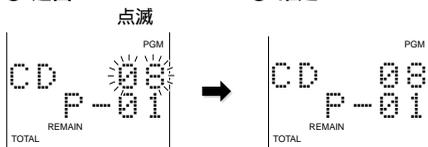
4 再生する

CD ▶/||キーを押す



① 選曲

② 確定



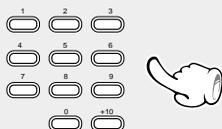
- 確定後、時間表示にかかります。
- 曲番号は◀◀▶▶キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"PGM Full"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- トラック番号表示の点滅中にSETキーを押さないと入力が中止されます。

- プログラムで選んだ順 (PGM-番号順) に再生します。
- 再生中に◀◀または▶▶キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには (リモコンのみ)

停止中に押す

① 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

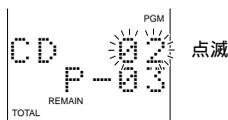


数字キーを押す順序は

12曲目なら..... +10, 2

20曲目なら..... +10, +10, 0

② SETキーを押す



- 曲番号は◀◀▶▶キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"PGM Full"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには (リモコンのみ)

CLEARキーを押す

停止中に押す



- CLEARキーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。



プログラムを解除するには (リモコンのみ)

PGMキーを押す

停止中に押す

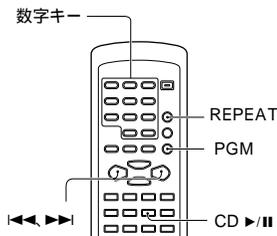


- 電源をオフ(スタンバイ)にする、または▲キーを押すと、設定したPGMモード再生は解除されます。

繰り返し聴く(リピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

CD-R、CD-RWを再生するときは、ファイナライズ処理されている必要があります。



入力切り換えを"CD"にする

- 24

1枚のディスクを繰り返し聴く

① "PGM"表示の消灯を確認する

② REPEATキーを押して"REPEAT"を選ぶ



③ CD ▶/||キーを押す



- "PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。

② "REPEAT"

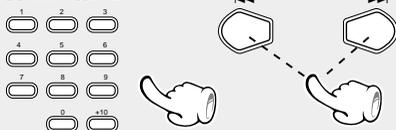


- 本体のREPEATキーでも操作できます。

1曲だけを繰り返し聴く

① "PGM"表示の消灯を確認する

② 数字キーまたは◀◀、▶▶で聴きたい曲番号を選ぶと再生が始まる



数字キーを押す順序は

12曲目なら..... +10, 2

20曲目なら..... +10, +10, 0

③ REPEATキーを繰り返し押して"REPEAT ONE"を選ぶ



③ "REPEAT ONE"



- 本体のREPEATキーでも操作できます。

選んだ曲だけを繰り返し聴く

① 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)の手順④までを行い、聴きたい曲をプログラムする - 37

② REPEATキーを繰り返し押して"REPEAT"を選ぶ

③ CD ▶/||キーを押す

リピート再生をやめるには

REPEATキーを"REPEAT"表示が消えるまで繰り返し押す

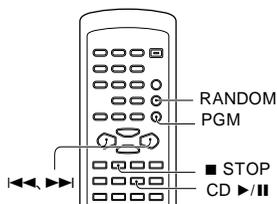
- "REPEAT"表示が消灯しても再生を続けます。

曲順を順不同に楽しむ

(ランダム再生)

毎回曲がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。

CD-R、CD-RWを再生するときは、ファイナライズ処理されている必要があります。



入力切り換えを"CD"にする

→ 24

1 "PGM"表示の消灯を確かめる

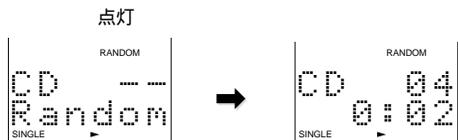
プログラム



- "PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。

2 ランダム再生を始める

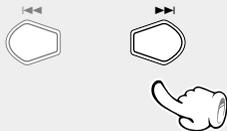
ランダム
RANDOMキーを押す



- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEATキーを押して"REPEAT"を選ぶと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶キーを押す



- ◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

再生中にRANDOMまたは■STOPキーを押す

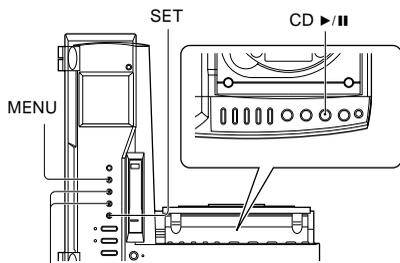


- RANDOMキーを押すと曲番号順の再生に戻ります。
- ■STOPキーを押すと停止状態になります。

飛び越し登録した曲を飛び越して再生する(SKIP PLAY)

スキッププレイの設定をオンにすると、CDレコーダーによって飛び越し再生が登録されているCD-R、CD-RWは本機でも飛び越し再生することができます。

CD-R、CD-RWを再生するときは、ファイナライズ処理されている必要があります。



MULTI CONTROL

入力切り換えを"CD"にする。CDプレーヤーは必ず停止状態にしてください。

- 24

① MENUキーを押す



② "Skip Play ?"と表示されるまでMULTI CONTROLキーを押す



③ SETキーを押す



④ MULTI CONTROLキーで"On"を選択してSETキーで確定する



⑤ 飛び越し登録されているCD-R、CD-RWをセットする

⑥ 再生する



CDレコーダーによる飛び越し再生の登録のしかたはCDレコーダーの取扱説明書をお読みください。CDレコーダーによっては、この機能がないものもあります。



スキップ再生を解除するには

1. 手順①～③を行う
2. 手順④で"Off"を選択してSETキーを押す

便利な録音あれこれ

CDからテープに録音する機能について

本機では、通常の録音の他に、CDプレーヤーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

CDの録音を簡単にしたいときは

ワンタッチエディット録音 (O.T.E.) ワンタッチエディット

全曲録音



カンタンな操作でCDの全曲を、テープに録音することができます。 - 43

1曲録音



そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作でテープに録音することができます。
(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。) - 43

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは

プログラム録音 (プログラム再生 (PGM) + O.T.E.) プログラム ワンタッチエディット

プログラム録音



CDをプログラムした曲順で録音します。
(CDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。) - 44



テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープの分だけ曲が録音できません。
曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

CDをワンタッチで録音する

(ワンタッチエディット録音) (O.T.E.)

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(1曲録音)

90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

 本機はノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの録音が可能です。メタル(TYPE IV)のテープは録音できませんのでご注意ください。

カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

① "テープに録音する"の手順1~3までを行う

- 34

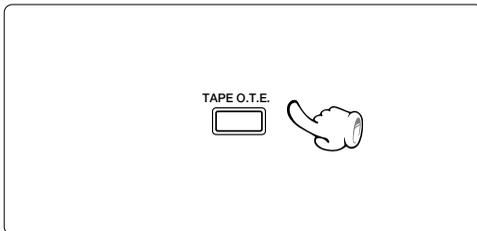
② CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる

- 24

2 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき	1曲録音するとき
再生中のときは停止させる	録音したい曲を再生する
	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲の途中でTAPE O.T.E. キーを押しても、その曲のはじめから録音がはじまります。

3 録音を始める



- 再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 本体で操作する場合は、TAPE O.T.E. キーを押します。
- 録音が終了すると、約4秒の無音部分を作ってから停止します。

録音を途中でやめるには

本体 ■ (停止) キー、またはリモコン ■ ^{ストップ} STOP キーを押します。

(録音、再生ともに停止します。)

曲順を並べ替えて録音する

(プログラム再生 (PGM) + O.T.E.)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに録音することができます。

90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

 本機はノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの録音が可能です。メタル(TYPE IV)のテープは録音できませんのでご注意ください。

カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

- ① "テープに録音する"の手順 1 ~ 3 までを行う - [34]
- ② 入力切り換えを "CD" にする。 - [24]
- ③ CD プレーヤーに録音元のディスクを入れる - [24]

2 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる



3 CDの曲順をプログラムする

"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順④
~⑤で録音する曲をプログラムをする - [37]

4 録音を始める



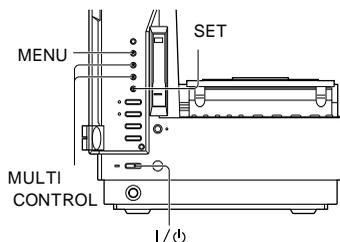
- プログラムの1曲目から録音がはじまり、全プログラムを録音します。
- 再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 本体で操作する場合は、TAPE O.T.E. キーを押します。
- 録音が終了すると、約4秒の無音部分を作ってから停止します。

録音を途中でやめるには

本体 ■ (停止) キー、またはリモコン ■ ^{ストップ} STOP キーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

タイマーを使う

CD、テープの再生、ラジオ受信、ラジオ放送などの録音を、指定した時間帯に自動的に行うことができます。設定後1回だけ働くO.T.T.タイマー、おやすみ前に設定すると自動的に電源がオズ(スタンバイ)になるSLEEPタイマー、設定を保存して毎日働く二つのPROG.タイマーがあります。



"時刻合わせ"を済ませてから、タイマーを設定してください。 - 19

簡単にタイマーを設定する(O.T.T.タイマー)

開始時刻をセットするだけの簡単な操作で、タイマー再生、受信ができます。電源をオズ(スタンバイ)にする前に、最後に選ばれていたソースが再生、受信されます。タイマー再生開始から1時間が経過すると、電源が自動的にオズ(スタンバイ)になります。O.T.T.タイマーは設定の後1回だけ働きます。(設定内容は解除しても設定変更されるまで記憶しています。)

① 聴きたいソースを選び、音量を設定する - 22

② MENUキーを押す



③ MULTI CONTROLキーを回して"Timer Set?"を選びSETキーを押す



④ MULTI CONTROLキーを押して、"O.T.T."を選びSETキーを押す

⑤ MULTI CONTROLキーを押してオン時刻をセットする

時刻が進む

時刻が戻る



⑥ SETキーを押す

⑦ 設定を予約する

リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、"O.T.T."を点灯させます。

- PROG.1またはPROG.2タイマーが先に予約されているとき、O.T.T.タイマーを設定すると、PROG.1またはPROG.2タイマーの予約は取り消されます。

⑧ I/Oキーで電源オズ(スタンバイ)状態にする

(STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します)

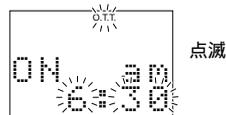


O.T.T.タイマーで再生されている間は、プログラムタイマーは働きません。

③ タイマーの選択



⑤ オン時刻設定



- オン時刻は、5分単位で設定できます。

解除するには

電源をオンにして、TIMERキーを繰り返し押して"O.T.T."を消す。(OFFにする)

- O.T.T.タイマーが動作中にTIMERキーを繰り返し押して"O.T.T."を消すと通常再生になります。

タイマー設定が済んだら、電源がオズ(スタンバイ)になっていることを必ず確認してください。

- タイマー設定後、電源がオズ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。

プログラムタイマー再生 (AI タイマー再生) タイマー録音

2系統(プログラム1、プログラム2)の24時間タイマー(毎回働きます)です。

PROG. 1、PROG. 2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の動作する時間は重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

"時刻合わせ"を済ませてから、タイマーを設定してください。

- 19

1 タイマー録音をするときはあらかじめ準備しておく

- 録音をする

録音の準備をする

テープ - 34 手順1 ~ 3

- タイマー録音は、ラジオ放送(TUNER)外部アナログ機器(AUX)からの録音ができます。

2 聴きたい(録音したい)ソースを選び、音量を設定する

- CDを聴く

ディスクをセットする
(通常の再生のみ)

- 24

- ラジオ放送を聴くまたは録音する

放送局をプリセットしておく

- 29 - 30 - 32

- 外部入力機器を録音、再生する

AUX入力端子に接続された機器の録音、再生の場合は"他の機器との接続"を参照し接続を済ませて、外部機器のタイマー設定をする。

- 13 - 33

- テープを聴く

テープをセットする

- 27

- 関連システム機器を接続するときには、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

3 タイマー予約モードにする

- 1 MENUキーを押す



- 2 MULTI CONTROLキーを押して"Timer Set ?"を選んでSETキーを押す



- 3 MULTI CONTROLキーを押して、"PROG.1"を選んでSETキーを押す



PROG.1で午前10:00から午前11:00までラジオ放送を受信するときの例

- 2 タイマーの選択



- 3 PROG.1を選択



- 間違えたときはMENUキーを押して解除し、手順2からやり直してください。
- すでに予約されているときは、新しい設定内容にかわりません。

4 オン時刻を設定する

- ① MULTI CONTROL キーを押してオン時刻を設定する



- ② SET キーを押す



- ③ ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

- ① オン"時"



- 間違えたときはMÉNUキーを押して解除し、手順④からやり直してください。

5 オフ時刻を設定する

- ① MULTI CONTROL キーを押してオフ時刻を設定する



- ② SET キーを押す



- ③ ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

- ① オフ"時"



- 間違えたときはMÉNUキーを押して解除し、手順④からやり直してください。

6 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

- ① MULTI CONTROL キーを押してタイマーモードを選ぶ

- ① "Play"または"AI Play"を選ぶ



- ② SET キーを押す



次ページに続く

タイマー録音をするとき

- ① MULTI CONTROL キーを押して録音モードを選ぶ

- ① "Rec"を選ぶ



- ② SET キーを押す

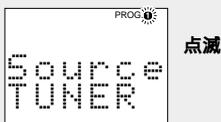
次ページに続く

② 入力ソースを選ぶ



① 何を聴くか選ぶ

- TUNER ラジオ放送
- CD CD
- TAPE テープ
- AUX (外部アナログ機器)



② SETキーを押す

② 入力ソースを選ぶ



① 何を録音するか選ぶ

- TUNER (ラジオ放送)
- AUX (外部アナログ機器)



② SETキーを押す

③ 放送局を選ぶ (TUNERを選択したとき)



① プリセットチャンネルを選ぶ



② SETキーを押す



① プリセットチャンネルを選ぶ



② SETキーを押す

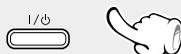
7 プログラムをオンオフする

① タイマーキーを押して予約したいタイマーの表示を点灯させる



② |/⏻キーで電源オス(スタンバイ)状態にする

(STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。)



TIMERキーを押すたびに切り換わります。

- O.T.T.
- PROG.1
- PROG.2
- PROG.1,2
- 消灯(OFF)

以上でプログラムタイマー予約は終了です。
PROG. 2にプログラムタイマー予約をする場合も同様の手順でおこなってください。

電源がオフになっていることを確認してください。

- タイマー - 録音のときは、タイマーで電源がオンになると、MUTEが自動的に働きます。 - 23
- 予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。
- 電源をオス(スタンバイ)状態にしたときSTANDBY/TIMERインジケーターが緑色の点滅をしているときは、タイマーは実行されません。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 - 19
- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 - 19

タイマーの実行を解除するには(リモコンのみ)

タイマー
プログラム
TIMERキーを繰り返し押しして"PROG. 1"または
"PROG. 2"の表示を消灯させる。



- 予約内容は記憶しています。

設定した内容のタイマーを再びセットする(リモコンのみ)

タイマー
プログラム
TIMERキーを繰り返し押しして"PROG. 1"または
"PROG. 2"を選ぶ。また"PROG. 1""PROG. 2"両方
をセットするときは"PROG. 1 2"を点灯させる。



- ディスクの準備、音量の調整をしておきます。

タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。→19

音楽を聴きながら眠る(SLEEPタイマー)(リモコンのみ)

何分後に電源をオス(スタンバイ)するか設定します。

CD、テープ再生中またはラジオ受信中などに
SLEEPキーを押す



- SLEEPキーを1回押すと残り時間の確認ができます。
- 設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。

- 1回押すごとに10分ずつ増加していきます。最大約90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 70 → 80 → 90 → 解除



解除するには

電源をオス(スタンバイ)にするか、またはSLEEPキーを解除になるまで繰り返し押す

本システムは、スリープタイマーの動作中は各機器の表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。(オートデイマー機能)



メンテナンス

セットのお手入れ

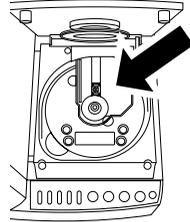
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

レンズのお手入れ

レンズの汚れは、再生ができなくなるなど、故障の原因となります。市販のカメラ用レンズブローなどを使って、レンズをクリーニングしてください。機器を傷めることがありますので、レンズには手を触れないでください。また、市販のレンズクリーナー、ディスククリーナーなどは使用しないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。



ヘッドのお手入れ

ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングには、市販のクリーニングテープを用いて行ってください。詳しくは、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販のカセットテープ型消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. 電源をオンにします。
2. CDプレーヤー、カセットデッキからディスク、テープを取り出します。
 - CD ▶/II、TAPE ◀▶を押したとき、表示部が図の表示になったことを確かめてください。
3. 電源をオフにします。
 - 電源がオフ(スタンバイ)になるまでは電源プラグはコンセントから抜かないでください。



輸送するときは、フロントドアを取り外してください。



メモリーバックアップ

次の項目は電源プラグをコンセントから抜いても消えずに本機に記憶されています。

アンプ部

- 電源の状態(オンまたはスタンバイ)
- バランスの設定
- トーンコントロール値(Bass、Mid、Treble)
- 入力切り換え
- AUX Inputのレベル値
- Rec Gainの設定

チューナー部

- オート、マニュアル選局の設定
- タイマーの設定内容*
- オートパワーセーブの設定

カセットデッキ部

- テープ走行方向
- リバースモード
- DOLBY NRの設定

* SLEEPタイマーは解除になります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

ステレオ音のエチケット



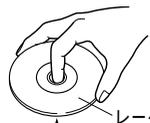
楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

本機で使用できるディスクについて

CD (12cm, 8cm)、CDVとCD-G (CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

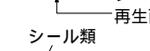
ディスクレーベル面に  のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

ディスクの取り扱いかた



ディスク取り扱い上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

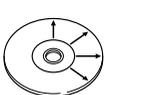


再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて



図のようにクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

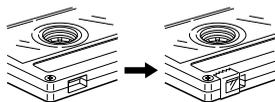
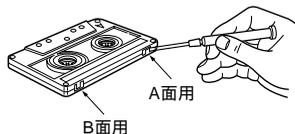
クランピングエリア

テープの取り扱いかた

誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。

誤消去・誤録音が防げます。

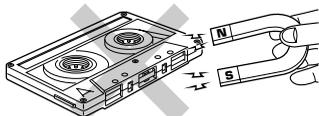


再び録音するには ツメを折った所だけにテープをはる。

テープの保管について

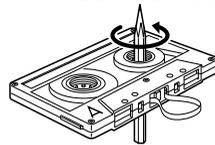
直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。

また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1.長時間テープについて

90分をこえるテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。

マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、MENUキーを押しながら、差し込み直す。



アンプ部・スピーカー部

症 状	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● "接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 - 12 - 13 ● 音量を上げる。 ● MUTEをオフ(解除)にする。 - 23 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
"STANDBY/TIMER"の表示が赤く点滅し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。 - 12
"STANDBY/TIMER"の表示が緑色に点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 時刻合わせをやり直す。 - 19
ヘッドホンから音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 - 23
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● "接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 - 12 ● 左右のバランスを調整する。 - 23
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在時刻をもう一度合わせる。 - 19
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● "時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 - 19 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を正しく設定する。 - 45 - 47 ● リモコンのTIMERキーで実行指定する。 - 48 - 49

チューナー部

症 状	処 置
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを接続する。 - 11 ● 放送バンドを合わせる。 - 29 - 32 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 - 29 - 32
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、◀◀、▶▶キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 - 30 - 32

リモコン部

症 状	処 置
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい電池に入れ換える。 - 17 ● 操作範囲内で操作する。 - 17

CDプレーヤー部

症状	処置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● レーベル面を上にして、正しく入れる。 ● "ディスクの取り扱いかた"を参照し、ディスクを清掃する。 → 52 ● "結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 → 51 ● CD-R、CD-RW*1はファイナライズ処理されていないと再生できません。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● CD ▶/II キーを押す。 ● "ディスクの取り扱いかた"を参照し、ディスクを清掃する。 → 52
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ● "ディスクの取り扱いかた"を参照し、ディスクを清掃する。 → 52 ● 振動のない場所に設置する。

カセットデッキ部

症状	処置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 → 50 ● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ● 録音済みテープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 → 27
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 → 50 ● テープがのびている。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ● AUX入力レベル(AUX Input、Rec Gain) <small>インプット レック ゲイン</small>を調整する。 → 36
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみて消磁する。 → 50 ● 電気器具、テレビなどから離す。 ● DOLBY NRをオンにする。 → 28
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 → 50 ● テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 → 28
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 → 52 ● 入力切換を録音したいソースにする。 → 35 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 → 34

CDプレーヤー部(ディスプレイのメッセージ一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置
CD No Disc	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが入っていない。 ● ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWを入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクを入れる。 ● ファイナライズ処理されたCD-R、CD-RWを入れる。
CD --:--	<ul style="list-style-type: none"> ● TOC*2情報が読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクを取りかえる。
CD Reading***	<ul style="list-style-type: none"> ● TOC*2情報を読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。

*1 録音した機器や、ディスクによってはファイナライズ処理しても、再生できない場合があります。

*2 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC(テーブル オブ コンテンツ Table of Contents)という情報が記録されています。

TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

保証書 (別途添付)

製品には保証書が「別途」添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットへお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。

付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理 / 持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状 (できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話() -

本体部 (RXD-L5)

[アンプ部]

実用最大出力	20W+20W(EIAJ 6)
スーパーウーファープリアウト	1.7 V / 620 Ω
入力感度/インピーダンス	
AUX	180 mV / 47 kΩ
出力レベル/インピーダンス	
AUX(出力)	180 mV / 100 kΩ
周波数特性	
AUX	15 Hz ~ 70 kHz(0 dB, -3dB)

[チューナー部]

FMチューナー部	
受信周波数範囲	76 MHz ~ 90 MHz
アンテナインピーダンス	75 Ω
AMチューナー部	
受信周波数範囲	531 kHz ~ 1,629 kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
D/Aコンバーター	1 ビット
オーバーサンプリング	8 fs (352.8 kHz)
周波数特性(EIAJ)	20 Hz ~ 20,000 Hz
ワウ・フラッター(EIAJ)	測定限界以下

[カセットデッキ部]

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス(周波数:105 kHz)
ヘッド	
録音 / 再生ヘッド	1
消去用	1
モーター	1
ワウ・フラッター	0.15 % (W.R.M.S.)
早巻き時間	約110秒 (C-60)
ドルビーノイズリダクション	B タイプ

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	37 W
最大外形寸法	
幅	243 mm
高さ	284 mm
奥行	310 mm
質量(重量)	5.6 kg(正味)

スピーカー部(LS-L5)

エンクロージャー	バスレフ型
スピーカー構成	
ウーファー	100 mm コーン型
ツイーター	19 mm ドーム型
インピーダンス	6 Ω
最大入力	20 W
最大外形寸法	
幅	133 mm
高さ	277 mm
奥行	224 mm
質量(重量)	2.9 kg(1本)



1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い(水が凍るような)場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
 カスタマーサポートセンター東京 電話 (03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
 カスタマーサポートセンター大阪 電話 (06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにご相談ください。